

# 校長室だより

岸和田市立浜小学校 平成28年度3号

6月といえば、「雨」、「じめじめ」、「蒸し暑い」、のイメージですが、ここのところ日中は暑いけれど、朝晩はさわやかなお天気が続いています。子どもたちは、新しい先生やクラスにも慣れて、ダレ始めることが多い時期ですが、どうでしょうか。

昨年度に続き、子どもと担任が一对一で話しをする時間「子ども面談」（3年生以上）が始まりました。短い時間ですが、先生が自分だけの話を聞いてくれる、先生と二人きりの空間を過ごすことのできる体験をすることで、子どもたちと担任の距離がより縮められると考えています。

## 正直が一番

正直ほど富める遺産はない シェイクスピア

アメリカ合衆国初代大統領ジョージ・ワシントンの子どもの時代の「ワシントンと桜の木」はとても有名です。

お父さんが大切にしていた桜の木の枝を切ってしまったワシントンが、叱られることを覚悟でそのことを正直に申し出て、枝を切ったことは悪いことだけど正直に言えたことでほめられた、というお話です。

以前は、物が壊れていたり、落書きがあつたりしても、誰がしたかわからないことが多かったのですが、最近は自分の失敗を正直に申し出ることのできる子どもが増えてきました。私は、子どもたちは失敗して当然、失敗して反省して成長していくものだと思っています。ですから、正直に言えない子どもが多いことの方を残念に思っていたので、正直に言える子どもが増えたことをとてもうれしく思っています。

先月載せた「あいさつ」の詩の中に「ごめんなさいというとほっとする」というフレーズがありました。正直に失敗を認めて「ごめんなさい」でほっとする。これですよね。

## いさぎよく謝る、心から謝る、率直に謝る

でも本当は、謝るって、むずかしいことです。また「謝ることと許してもらうこと」はワンセットではないとも思います。「謝罪と許し」はワンセットではない。許してもらうために謝るのではない、ということ。許してもらうことは謝ることのあとに、やってくることもあるけれど、許してもらえないこともある。かといって、こちらが謝ったのに、許してくれない！といきまくことはそれ自体がズれている。被害を被った側は許すかどうか、自分で決めればよい、許すかどうかは自己決定なのです。

これは、小学生の子どもには難しいですが、私たち大人はここまで考えることも必要です。そして、子どもたちもいつかこのこともわかる大人になってほしいものです。

人は自分を  
映す鏡・・・

こだまでしょうか  
金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと  
「遊ぼう」っていう。

「ばか」っていうと  
「ばか」っていう。

「もう遊ばない」っていうと  
「遊ばない」っていう。

そうして、あとで  
さみしくなって、

「ごめんね」っていうと  
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、  
いいえ、誰でも。

学習参観、懇談会へのご参加ありがとうございました。

普段の授業よりは、緊張していたりまた逆にハイテンションだったり、いつもどおりというわけにはいかなかったとは思いますが、4月の参観のときに比べて、クラス全体が馴染んだ感じがしませんでしたか。

私は、いつもぶらぶらと教室を回って授業をみています。

最近、一生懸命聴いて考えて、身を乗り出して授業を受けている子どもが増えてきています。

子どもたちが、新しい学びの喜びを知ることが、学習意欲につながります。

学校の授業と家庭学習を両輪として、子どもたちに学力をつけていきたいと考えています。

ご協力、よろしくお願いします。

H28. 6. 6

